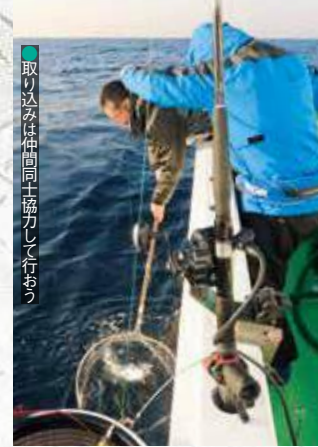




●幹事の本間さんおきれいな1キロ級をゲット



●取り込みは仲間同士協力して行おう



▲当日最初に竿を曲げたのは三鷹市の谷田部実さん。ギョングンと竿が絞り込まれる



●魚種多彩に釣れるマダイ五目は初心者連れにもおすすめ



●1.5キロ級のイナダが登場

**優しい船長たちが四季折々の釣り物を案内**

あまさげや丸が遊漁船としてお客さんに乗せるようになったのは100年以上前のこと。甘酒というユニークな屋号は代々受け継がれ、現在は4代目の鈴木正宏船長と鈴木裕太船長、そして正宏船長の息子である涼太船長と航太船長が舵を握り、常時4隻体制で釣り人を楽しませる。昨年末には全長19・9メートル



▲マダイの釣り場は剣崎沖の水深30～60メートル

「4～5月はマダイのお客さんで予約がすぐ埋まってしまいます。早めのご予約をおすすめします」と涼太船長。ちなみにマダイは、過去に12キロなんていう monstruosa 級が上がったこともあるというから驚く。

今年はいよいよの模様もよく

ルの大型新造船も就航。安定感抜群の船でゆったりと竿が出る。なお4隻ある船の配船は乗船人数に応じて決められる。涼太船長に3月中旬以降のおすすめをたずねると、まずは乗っ込みを迎えるマダイで釣り場は剣崎沖の水深30～60メートル。1～2キロを中心にして4～5キロクラスも顔を見せクロダイやイシダイ、アジ、サバなども交じるといふ。

**初めてイナダ&クロダイを釣っちゃいました!**

by 前田 帆乃華さん

当日は手巻きリールのレンタルタックルで頑張っていた東京都調布市の前田帆乃華さん。船釣りはこれで2回目とのこと。初チャレンジしたマダイ五目の感想をうかがってみました。

「イナダが掛かったときは竿を持ち上げるのが大変でした。あんなに引くとは思っていませんでしたのでビックリしました。最後にクロダイも釣れて、どちらの魚も初めて釣った魚なのでうれしかったです。お刺身でいただきたいです。今回はマダイを釣り上げたいです」と前田さん。

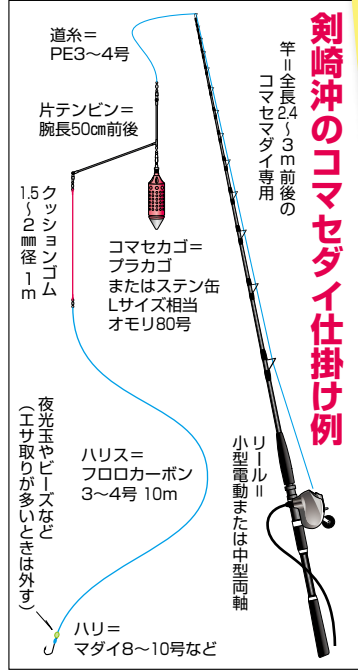
自分で釣った魚の刺身は格別だったことでしょう。これからも頑張ってください。



おすすめのこと。釣り場は城ヶ島沖や剣崎沖の水深80～90メートルで好日はトップ30～40杯の釣れ具合。今後は釣り場の水深が徐々に浅くなり釣りやすくなるのでピギナーのマルイカ入門にもいいだろう。

春はヤリイカも人気を集める。目下は洲崎沖の水深200メートル前後を狙い、いい日はスルメ交じりでトップ40杯前後といったところ。少し前まで厳しい状況が続いたが、ここに来てがぜんよくなってきたという。バリバリ釣って透き通って甘みの強い刺身を堪能したいものだ。

アマダイもリピーターが多い。そうで、剣崎沖の水深90～100メートルを狙う。25～30センチ級中心に40センチオーバーが上がることも珍しくなく、良型のイトヨリなども顔を見せる。そのほかカワハギは周年受け付けていてアジやカサゴなども出船



**剣崎沖のコマセダイ仕掛け例**

**今回の釣り仲間**

●取材でお邪魔させていただいたのは、東京都調布市の本間さんが幹事を務めるグループ。釣り物はマダイ五目です。



**仲間や家族と沖釣りホリデー!**  
Charter boat fishing with friends and family

**貸し切り船 ナビ**

●撮影・文 / 古河好夫

【最終回】

三浦半島 剣崎松輪港

**あまさげや丸**

**鈴木涼太船長に聞きました! マダイ五目のコツ**

「タナは海面から取りますが、この釣りで肝心なのはなんといってもこのタナ取りです。タナがバラバラだとマダイの活性を上げることができず、群れも浮いてきません。仕掛けを投入したら指示ダナよりも6～7メートルビシを沈めて、3～4回コマセを振り出して、タナに合わせてください。で、3分ほど待ってアタリがないようなら仕掛けを回収して入れ直してください。手返しが大切で、いつまでも置き竿で待っているのは釣れません」



三浦半島 剣崎松輪港のあまさげや丸は、常時4隻体制で剣崎沖を中心にマダイやアジ、ワササなど相模湾の人気ターゲットを心ゆくまで楽しませてくれる老舗船宿。昨年の12月には大型新造船を就航。5名からと少人数で仕立てられるうえ、1～2名から受け付けているリクエスト乗合も好評だ。

TARGET  
**マダイ五目**



# あまさけや丸

AMASAKEYAMARU  
Kenzaki-Matsuwa Port, Miura Peninsula  
☎046-886-1610 (詳細は巻末の情報欄参照)



## 料金プラン

●5名まで4万5000円。1人増し9000円(釣り物により料金の変更あり)。小学生は平日は無料、土日祝日は4000円。リクエスト乗合は1~2名まで1万8000円、3名から1人9000円。4隻体制で出船、いずれの船も最大で20名まで。応相談でリレー釣りが可能。乗船料は下船後に乗船場にて精算。

●昨年12月に就航した全長19.9メートルの大型新造船「第二十三あまさけや丸」。安定感抜群でゆったりと釣りが楽しめる



▲船後方のスカイデッキは休憩するのにピッタリ ▲トイレも広く快適



		《釣り物カレンダー》											
釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マダイ五目	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
アジ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
イサキ	🐟												
ワラサ	🐟												
イナダ	🐟	🐟											
カワハギ	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
イシダイ	🐟	🐟											
アマダイ	🐟	🐟	🐟										
カサゴ	🐟												
スルメイカ	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑
マルイカ	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑
ヤリイカ	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑	🦑

## 利用ガイド

- 【予約方法】**  
電話またはメールにて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日程を確保
- 【出船時間】**  
5時半~(季節によって変動あり)。沖揚がりまで最大7時間
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**  
氷、エサ、仕掛けはすべて別料金
- 【レンタルタックル】**  
手巻きリールのセットは1000円。電動リールのセットは2000円
- 【集合場所】**  
剣崎松輪港に集合。車は乗船場に隣接する駐車スペースに停める



●タネを取ったらゆつくりと誘いをかけるのも釣りの醍醐味



◀コマセカゴはLサイズ、オモリ80号。ハリスは4号10メートルが基準



▲イナダは全員ゲット



▲早朝はイナダ祭りとなった



▲青物でお土産はバッチリ



「谷田部さんは15キロ級をキャッチ」

▼イナダの強い引きに女子も大喜び!

▶三鷹市の吉田正史さんが釣り上げたきれいな1キロ級



▶調布市の前田さんは最後にクダヤを釣り上げ笑顔が弾けた



幹事の本間 学さんに聞きました!  
明るく優しい船長たちに毎回楽しませてもらってます。これから始まるマダイの乗っ込みが楽しみです!

あまさけや丸のココが好き!

「あまさけや丸は4年前から利用していますが、4人の船長たちは皆明るく優しい人柄で毎回楽しく釣らせてもらっています。おかしみさんの明るいキャラも最高です。いつもはマダイやアジ五目などを楽しんでいて、まだ釣ったことはないけど夏はキハダにも挑戦しています。今日はなんとか本命をキャッチできたので満足です。もう少しするとマダイの乗っ込みが始まるので、次回はマダイ狙いで乗船しようと思っています」  
当日は7名で乗船し、コマセを船長に用意してもらい1人あたりの料金は1万2000円。ご協力ありがとうございました。



する。  
なお同船が行っているリクエスト乗合は5名に満たない少数グループにありがたいシステムで、2名まで1万8000円で釣り物や日程を確保。同時に船宿のホームページ上で相乗りするお客さんを募集。3人目からの乗船料は1人9000円となる。  
4人の船長はいずれも物腰のやわらかい優しい人柄で実に親切。リレー釣りの相談にも快く応じてくれるので、皆さんも出かけてみてはいかがでしょうか。

## 厳しい状況の中マダイやイナダが登場!

あまさけや丸を訪れたのは2月18日のこと。東京都調布市の本間学さんが幹事を務めるグループがマダイ五目で仕立てた船にお邪魔させていただいた。当日は7時に出船。剣崎沖水深50メートル前後、指示ダナ30メートルで開始となった。  
鈴木涼大船長に近況をたずねると潮が澄んでしまいこのところ厳しい日が続いているとのこと。真冬のマダイは一筋縄ではいかないようだ。  
最初には竿を曲げたのは右トモで竿を出していた谷田部実さんで軟調竿がギョングン引き込まれる。  
やがて姿を見せたのは丸まるとしたイナダ。その後はコマセにイナダが着いてしまったようで全員にヒット。連発する人もいて船上はイナダ祭り状態となった。  
「この場所はマダイも多いんですけどねえ。今日はイナダばかりです」と涼大船長。  
そんな中、右ミヨシの吉田正史さんから、

「タイ、タイ!」という声が上がった。  
カメラを手に駆け寄ると1キロ級のマダイがちょうどタモに入ったところで釣り上げた吉田さんはなんとうれしそう。写真を撮らせてもらうと朝日を浴びたマダイが実に美しい。  
ここからはマダイが続くかと思われたが、どうしたものか釣れるのはイナダばかり。船長は剣崎沖の水深60メートル前後に移動し、指示ダナ43メートルで再開。  
その1投目で竿を曲げたのは谷田部さん。やあつて取り込まれたのは1.5キロ級のマダイで釣った本人は、「お刺身でいただきます!」と大喜び。  
続いて幹事の本間さんも1キロ級のマダイをゲット。  
そして沖揚がり直前に竿を曲げたのは前田帆乃華さん。1キロ級のクダヤを釣り上げたニコニコであった。  
これから乗っ込みを迎える剣崎沖のマダイは良型の期待大。皆さんもチャレンジしてみてくださいいかがでしょうか。  
◆「貸し切り船ナビ」は今回が最終回となります。長らくのご愛読ありがとうございました。